

令和7年

観光統計



高千穂町企画観光課

目 次

○はじめに	1
○総括数値	2
○交通機関別入込-表1-	3
○交通機関年別推移-表2-	4
○観光客消費額の推移-表3-	5
○観光客方面別入込数-表4-	6
○年別入込数及び宿泊客推移-表5-	7
○自動車乗入台数の推移-表6-	8
○宿泊者数推移-表7-	9
○月別宿泊割合-表8-	10
○結果考察	11
○調査要領	12

〇はじめに

令和7年高千穂町観光入込調査がまとまりました。昭和36年から毎年、高千穂峡内の駐車場入込、各旅館・ホテル・民宿などの宿泊客数やお土産等の消費額、宮崎交通等公共交通機関の利用者データを基に1年間の観光客を推計し、公表しております。

令和7年の観光統計につきましては、入込数が1,772,350人であり、前年から202,400人の増加となりました。対して観光客宿泊数においては、339,000人であり、前年から28,000人の増加となりました。

調査の実施にあたりご協力いただきました関係機関の方々に厚くお礼を申し上げますとともに、本調査が本町観光振興の一助となるよう広く皆様にご活用いただければ幸いです。

高千穂町企画観光課

総括数値

単位：人

観光客入込総数	1, 772, 350	
令和6年	1, 569, 950	
増減	202, 400	112. 9%

単位：人

利用交通機関別内訳	令和7年	令和6年	増減
貸切バス	195, 000	172, 700	22, 300 113%
乗用車	1, 548, 800	1, 372, 100	176, 700 113%
路線バス	28, 550	25, 150	3, 400 114%
合計	1, 772, 350	1, 569, 950	202, 400 113%

単位：円

観光客消費額	11, 738, 917, 000	
令和6年	9, 176, 979, 000	
増減	2, 561, 938, 000	127. 9%

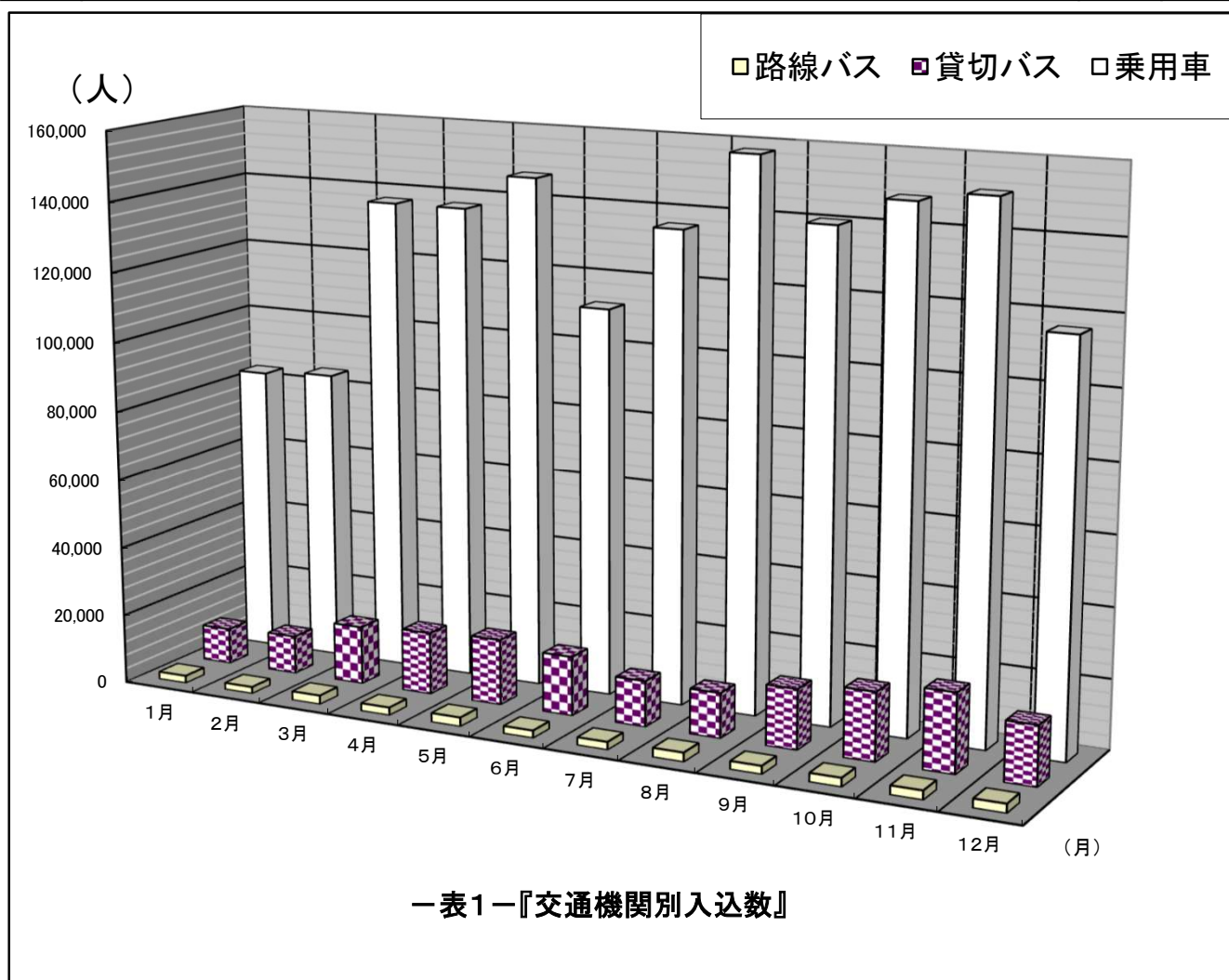
単位：人

観光客宿泊数	339, 000	
令和6年	311, 000	
増減	28, 000	109. 0%

○交通機関別入込数—表1—

単位:人

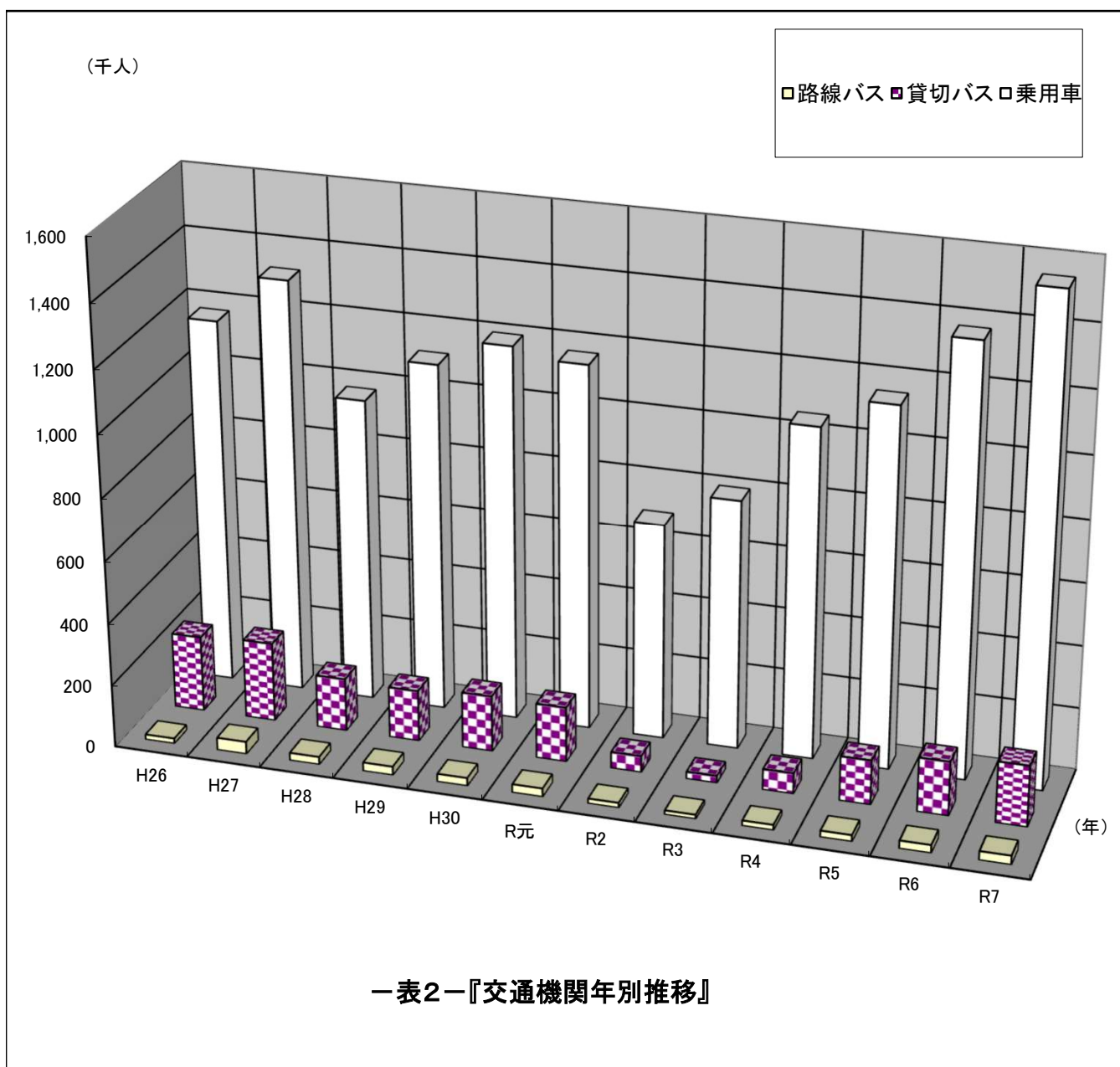
利用機関	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率
貸切バス	10,367	11,075	16,840	18,003	18,964	17,093	13,199	12,946	17,245	19,621	22,656	16,991	195,000	11.0%
乗用車	83,345	84,649	136,857	136,889	146,992	111,756	135,692	157,623	140,037	147,951	150,744	116,265	1,548,800	87.4%
路線バス	2,154	1,925	2,562	2,256	2,604	2,141	2,250	2,621	2,344	2,522	2,589	2,582	28,550	1.6%
合計	95,866	97,649	156,259	157,148	168,560	130,990	151,141	173,190	159,626	170,094	175,989	135,838	1,772,350	100.0%
比率	5.4%	5.5%	8.8%	8.9%	9.5%	7.4%	8.5%	9.8%	9.0%	9.6%	9.9%	7.7%	100%	
R6	86,612	95,135	125,334	125,876	148,828	117,680	138,815	144,303	145,587	152,360	162,459	126,961	1,569,950	
増減	9,254	2,514	30,925	31,272	19,732	13,310	12,326	28,887	14,039	17,734	13,530	8,877	202,400	



○交通機関年別推移—表2—

単位:千人

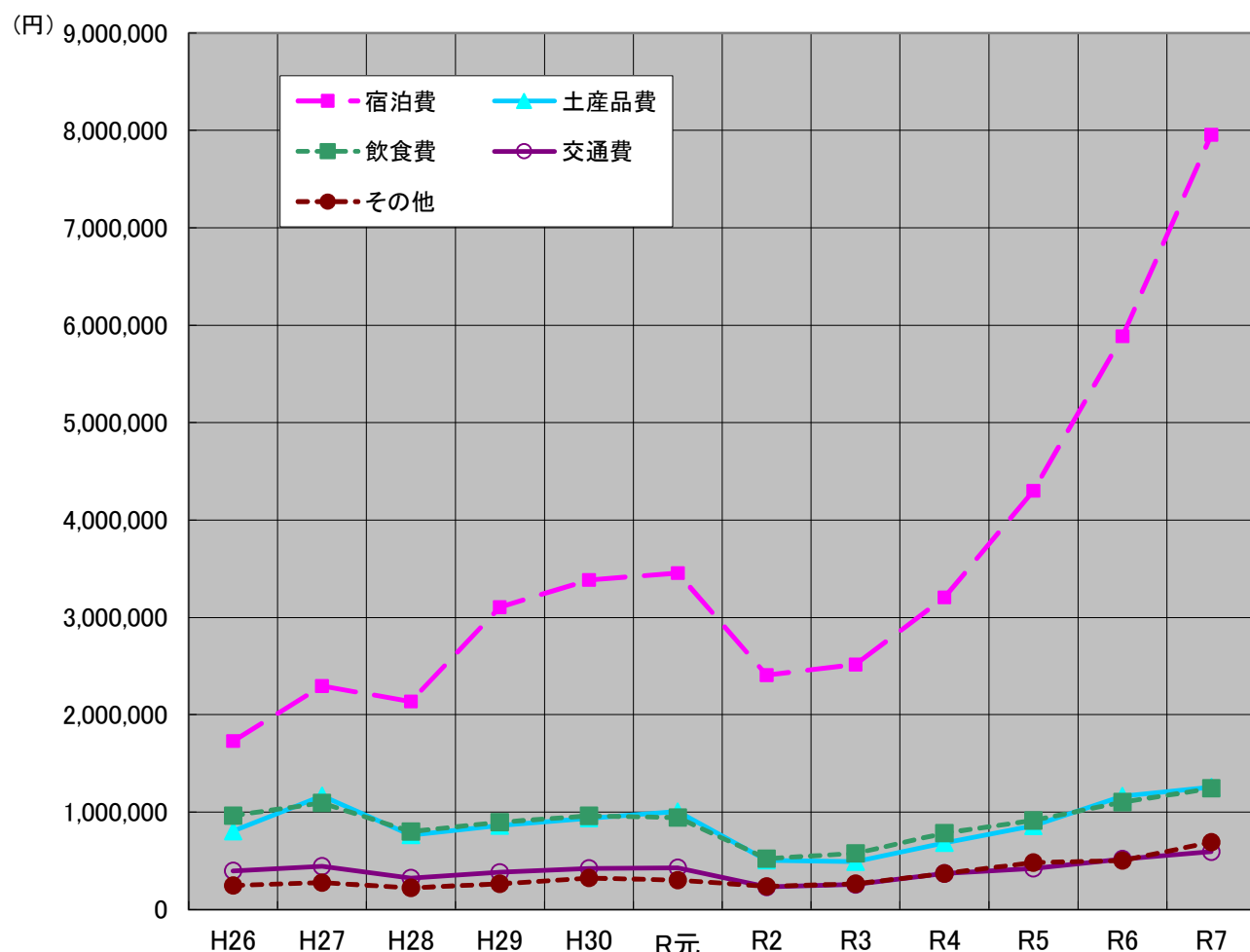
利用機関	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比
貸切バス	242	253	169	163	179	176	52	22	66	142	173	195	112.7%
乗用車	1,171	1,324	973	1,113	1,197	1,166	692	799	1,057	1,151	1,372	1,549	112.9%
路線バス	16	39	24	27	25	26	15	13	16	20	25	28	112.0%
合計	1,429	1,616	1,166	1,303	1,401	1,368	759	834	1,139	1,313	1,570	1,772	112.9%



・観光客消費額の推移—表3—

単位：千円

項目	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比
宿泊費	1,729,307	2,295,216	2,136,675	3,105,948	3,385,131	3,455,898	2,407,951	2,515,947	3,205,620	4,299,552	5,887,744	7,956,802	135.1%
土産品費	805,441	1,167,543	764,626	861,924	938,938	1,005,927	504,866	490,816	684,249	857,749	1,165,425	1,255,442	107.7%
飲食費	964,410	1,093,963	799,577	895,818	962,922	944,190	523,077	575,732	785,030	915,917	1,104,348	1,243,093	112.6%
交通費	395,889	441,988	322,883	380,072	422,492	427,979	230,951	258,818	370,643	423,469	518,010	592,564	114.4%
その他	245,346	274,494	222,216	264,168	322,434	303,362	237,265	262,698	369,297	482,102	501,452	691,015	137.8%
合計	4,140,393	5,273,204	4,245,977	5,507,930	6,031,917	6,137,356	3,904,110	4,104,011	5,414,839	6,978,789	9,176,979	11,738,916	127.9%

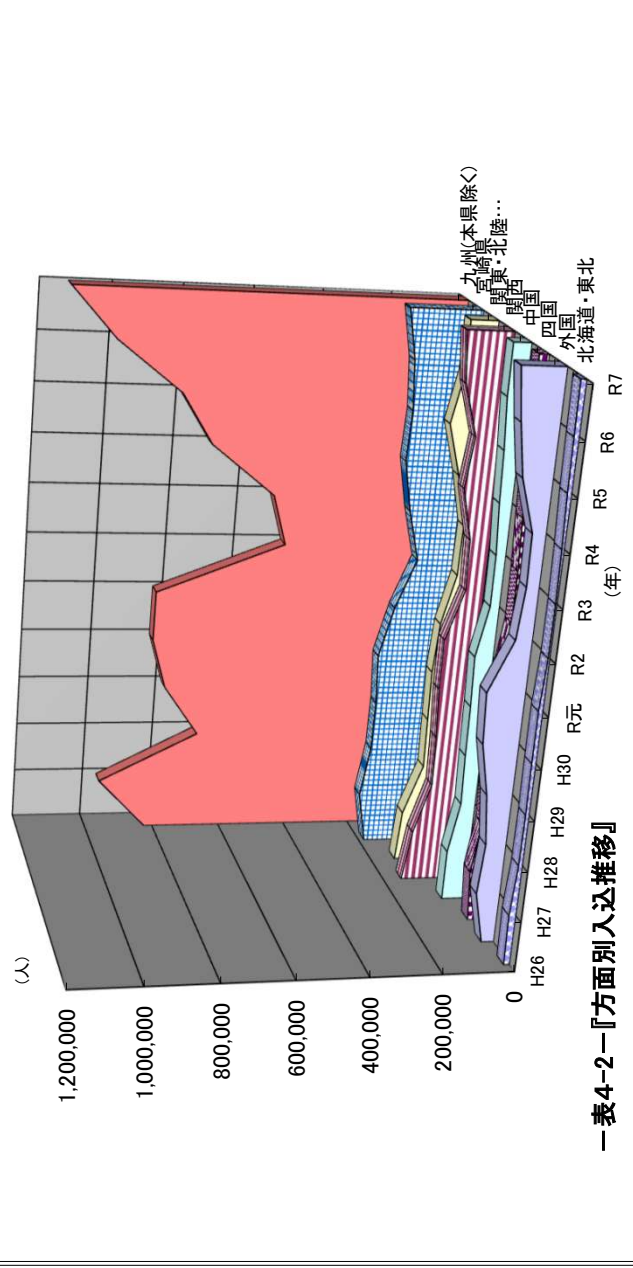
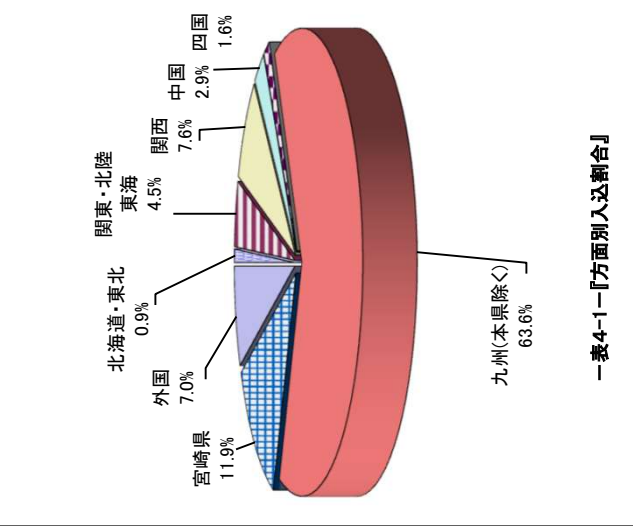


—表3—『項目別消費額の推移』

○観光客方面別入込数—表4—

単位:人

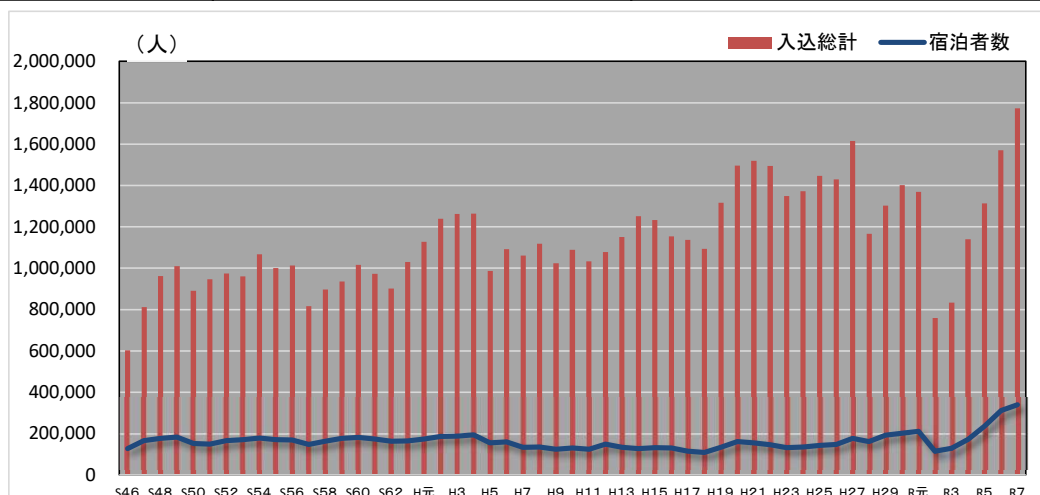
年別	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	方面別割合	増減
北海道・東北	16,900	19,900	11,100	10,300	12,100	12,300	5,000	4,500	7,200	12,000	14,140	16,325	0.9%	2,185
関東・北陸 東海	127,200	118,000	70,200	73,500	76,700	68,000	35,000	32,600	64,900	106,500	79,040	80,475	4.5%	1,435
関西	145,800	127,300	85,900	89,600	97,100	98,100	53,400	57,500	92,200	76,500	120,440	134,740	7.6%	14,300
中国	65,200	65,700	41,800	46,300	48,300	53,300	26,700	27,800	36,500	41,400	50,520	51,320	2.9%	800
四国	31,400	41,200	23,700	29,000	31,900	28,100	10,700	12,200	17,700	21,500	25,400	27,880	1.6%	2,480
九州(本県除く)	823,900	966,100	684,900	790,600	835,300	835,600	469,300	514,200	704,300	799,300	991,820	1,126,330	63.6%	134,510
宮崎県	182,900	211,000	190,900	190,000	198,600	164,400	111,700	149,600	178,000	172,700	183,020	211,250	11.9%	28,230
外国	35,700	67,000	57,800	72,900	101,400	108,600	47,000	35,500	38,300	83,000	105,570	124,030	7.0%	18,460
合計	1,429,000	1,616,200	1,166,300	1,302,200	1,401,400	1,368,400	758,800	833,900	1,139,100	1,312,900	1,569,950	1,772,350	100%	202,400



〇年別入込数及び宿泊客推移—表5—

単位:人

年 別	入込総計	増減前年比	宿泊者数	宿泊割合
S46	602,906	25.0%	126,702	21.0%
S47	沖繩返還 811,922	34.7%	165,671	20.4%
S48	961,425	18.4%	177,564	18.5%
S49	100万人突破 1,009,601	5.0%	183,100	18.1%
S50	890,488	-11.8%	151,576	17.0%
S51	945,296	6.2%	149,800	15.8%
S52	973,196	3.0%	165,443	17.0%
S53	日中平和友好条約 960,431	-1.3%	170,256	17.7%
S54	1,066,947	11.1%	178,756	16.8%
S55	1,000,365	-6.2%	169,985	17.0%
S56	1,012,841	1.2%	169,797	16.8%
S57	817,283	-19.3%	146,376	17.9%
S58	896,955	9.7%	162,739	18.1%
S59	934,670		177,850	19.0%
S60	プラザ合意 1,015,037	8.6%	180,688	17.8%
S61	972,091	-4.2%	172,998	17.8%
S62	901,443	-7.3%	163,199	18.1%
S63	1,029,666	14.2%	163,744	15.9%
H元	消費税3%導入 1,127,477	9.5%	173,161	15.4%
H2	1,239,777	10.0%	187,056	15.1%
H3	1,261,708	1.8%	188,154	14.9%
H4	バブル後退期 1,264,987	0.3%	194,143	15.3%
H5	986,696	-22.0%	154,829	15.7%
H6	1,092,000	10.7%	160,000	14.7%
H7	阪神・淡路大震災 1,060,000	-2.9%	133,800	12.6%
H8	1,117,800	5.5%	135,500	12.1%
H9	消費税5%へ引上げ 1,024,100	-8.4%	124,400	12.1%
H10	1,089,100	6.3%	129,500	11.9%
H11	1,032,500	-5.2%	125,200	12.1%
H12	1,077,600	4.4%	149,400	13.9%
H13	米同時多発テロ 1,151,400	6.8%	134,200	11.7%
H14	1,251,700	8.7%	127,300	10.2%
H15	イラク戦争勃発 1,233,100	-1.5%	130,800	10.6%
H16	台風16・18号被害 1,153,500	-6.5%	130,100	11.3%
H17	台風14号被害 1,136,900	-1.4%	115,800	10.2%
H18	1,093,900	-3.8%	109,000	10.0%
H19	東国原知事就任 1,316,700	20.4%	134,300	10.2%
H20	リーマン・ショック 1,496,500	13.7%	161,600	10.8%
H21	1,520,000	1.6%	154,900	10.2%
H22	口蹄疫被害発生 1,494,800	-1.7%	145,600	9.7%
H23	東日本大震災 1,348,600	-9.8%	131,700	9.8%
H24	九州北部豪雨 1,372,600	1.8%	134,900	9.8%
H25	1,445,600	5.3%	142,700	9.9%
H26	消費税8%へ引上げ 1,429,100	-1.1%	146,900	10.3%
H27	1,616,200	13.1%	177,100	11.0%
H28	4月熊本地震 1,166,300	-27.8%	161,600	13.9%
H29	1,302,000	11.6%	191,100	14.7%
H30	1,401,400	7.6%	201,400	14.4%
R元	消費税10%へ引上げ 1,368,400	-2.4%	209,800	15.3%
R2	新型コロナウイルス感染拡大 758,800	-44.5%	114,700	15.1%
R3	833,900	9.9%	129,000	15.5%
R4	ロシアによるウクライナ侵略 1,139,100	36.6%	171,500	15.1%
R5	1,312,900	15.3%	234,700	17.9%
R6	円安(1ドル=160円台)34年ぶり 1,569,950	19.6%	311,000	19.8%
R7	1,772,350	12.9%	339,000	19.1%

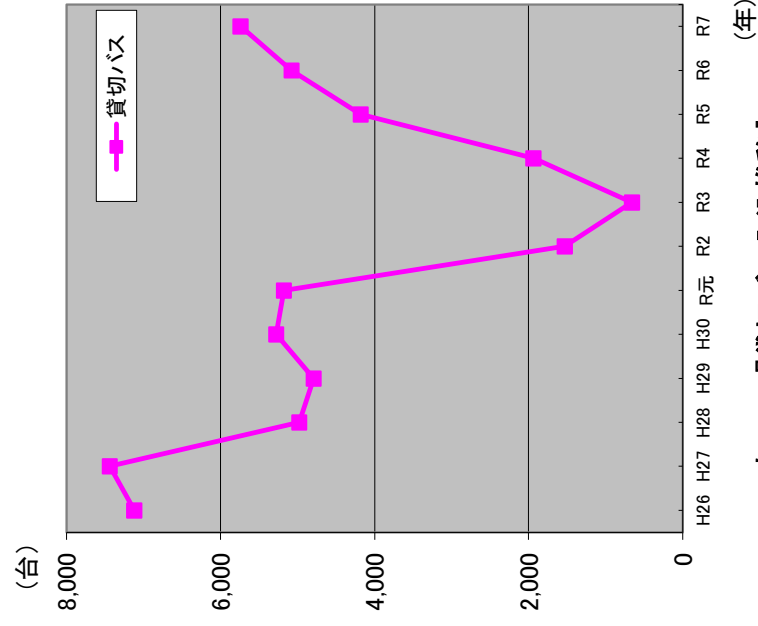


—表5— 『入込総計及び宿泊客の推移』

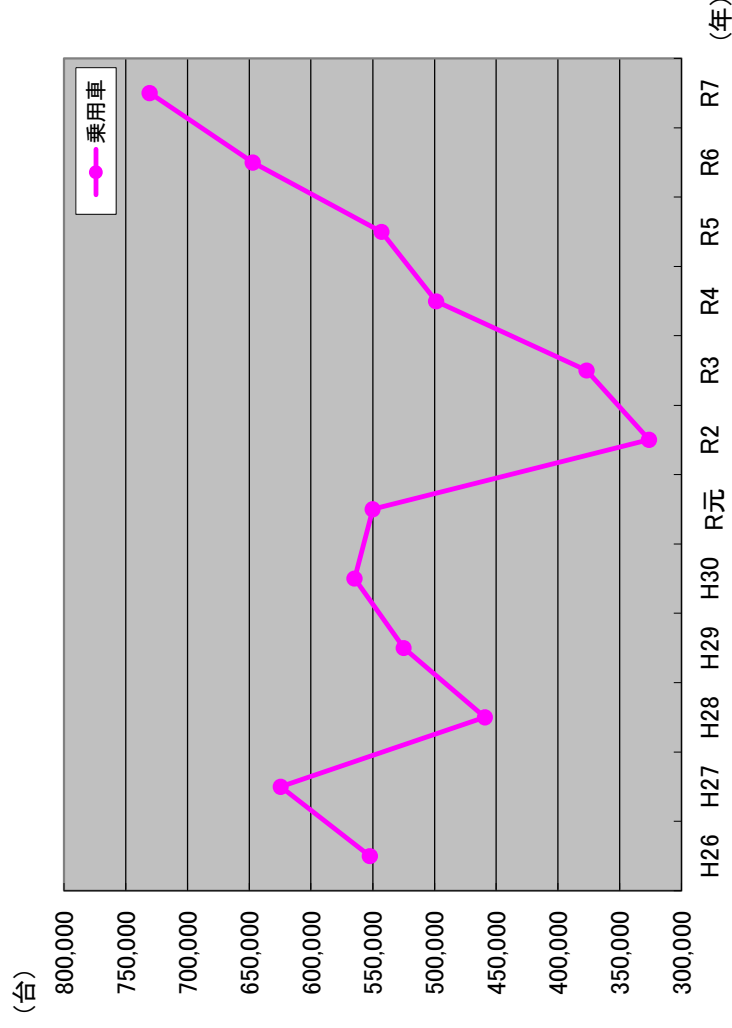
○自動車乗入台数の推移—表6—

単位:台

年別	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	前年比
貸切バス	7,120	7,440	4,980	4,790	5,280	5,180	1,530	660	1,940	4,180	5,080	5,740	113.0%
乗用車	552,220	624,530	459,010	524,760	564,720	550,050	326,180	376,750	498,440	542,830	647,220	730,570	112.9%
合計	559,340	631,970	463,990	529,550	570,000	555,230	327,710	377,410	500,380	547,010	652,300	736,310	112.9%



—表6-1—『貸切バス入込推移』



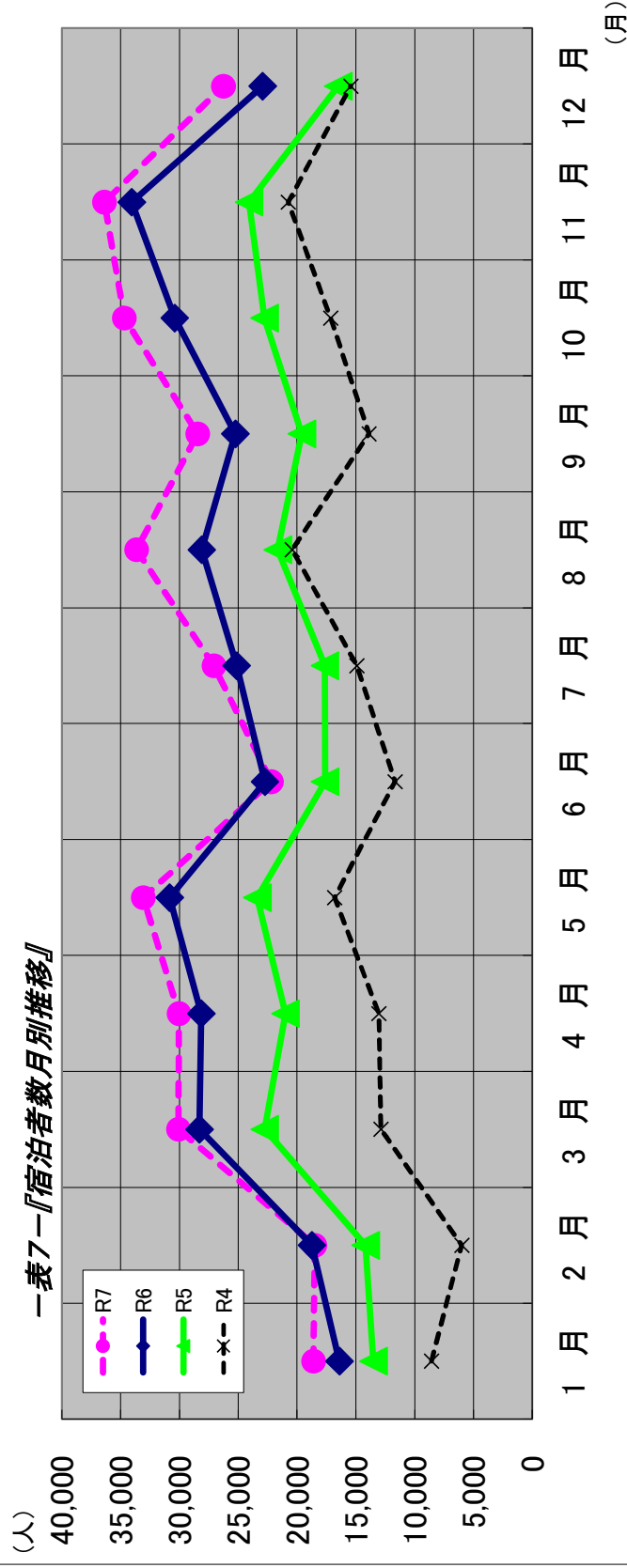
—表6-2—『乗用車入込推移』

○宿泊者数月別推移—表7—

単位:人

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
R7	18,615	18,500	30,090	30,050	33,080	22,190	27,070	33,645	28,440	34,690	36,380	26,250	339,000
月別割合	5.5%	5.5%	8.9%	8.9%	9.8%	6.5%	8.0%	9.9%	8.4%	10.2%	10.7%	7.7%	100%
増減	2,219	▲ 230	1,800	1,910	2,240	▲ 550	1,935	5,545	3,200	4,290	2,321	3,320	28,000
R6	16,396	18,730	28,290	28,140	30,840	22,740	25,135	28,100	25,240	30,400	34,059	22,930	311,000
月別割合	5.3%	6.0%	9.1%	9.0%	9.9%	7.3%	8.1%	9.0%	8.1%	9.8%	11.0%	7.4%	100%
増減	2,884	4,547	5,530	7,138	7,453	5,117	7,497	6,457	5,648	7,622	9,972	6,435	76,300
R5	13,512	14,183	22,760	21,002	23,387	17,623	17,638	21,643	19,592	22,778	24,087	16,495	234,700
月別割合	5.8%	6.0%	9.7%	8.9%	10.0%	7.5%	7.5%	9.2%	8.3%	9.7%	10.3%	7.0%	100%
増減	4,937	8,181	9,898	7,968	6,580	5,961	2,717	1,234	5,700	5,628	3,336	1,060	63,200
R4	8,575	6,002	12,862	13,034	16,807	11,662	14,921	20,409	13,892	17,150	20,751	15,435	171,500
月別割合	5.0%	3.5%	7.5%	7.6%	9.8%	6.8%	8.7%	11.9%	8.1%	10.0%	12.1%	9.0%	100%

—表7—『宿泊者数月別推移』

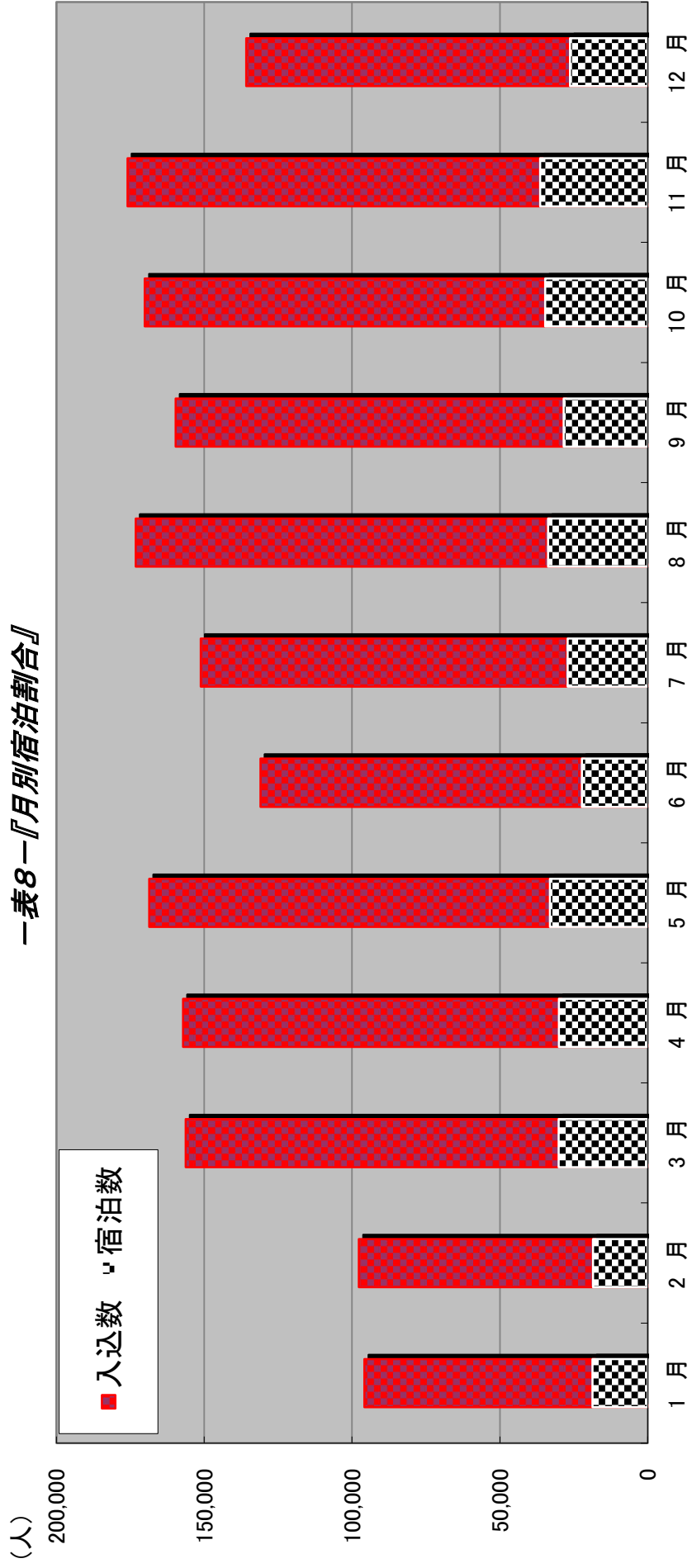


・月別宿泊割合一表8ー

単位:人

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
入込数	95,866	97,649	156,259	157,148	168,560	130,990	151,141	173,190	159,626	170,094	175,989	135,838	1,772,350
宿泊数	18,615	18,500	30,090	30,050	33,080	22,190	27,070	33,645	28,440	34,690	36,380	26,250	339,000
宿泊率	19.4%	18.9%	19.3%	19.1%	19.6%	16.9%	17.9%	19.4%	17.8%	20.4%	20.7%	19.3%	19.1%

一表8ー『月別宿泊割合』



○結果考察

本町の令和7年の観光客入込数は1,772,350人で、前年の1,569,950人から202,400人の増加（前年比112.9%）となった。入込総数は令和3年から増加傾向であり、過去最多である平成27年161万6200人を超える結果となり、過去最多の入込数となっている。「自動車乗入台数の推移」の表からも読み取れるとおり、入込数が最多であったH27年（161万6200人）時点と比較した時、貸切バスの乗入数は減り、乗用車の乗入数が増加している。このことより、団体旅行から乗用車を利用した個人旅行の傾向が強くなったといえる。

交通機関別にみると、「貸切バス：前年比113%」「乗用車：前年比113%」「路線バス：前年比114%」全ての項目が増加している。

観光客宿泊数については、前年の311,000人より28,000人（前年比109.0%）と増加しており、宿泊者数も去年の過去最多を更新する結果となった。しかし、入込数に対する宿泊率は、前年の19.8%に対し19.1%とほぼ横這いで推移している。

観光客消費額については、総額約117億3891万円、前年比127.9%である。「宿泊費」「その他」は前年比約135%であるが、「土産品費」「飲食費」「交通費」は前年比約110%と微増の結果となった。このことから、宿泊を伴わないボート乗船等のみを目的とした入込数の増加が推測できる。

観光客方面別入込数では、すべての地域において増加する結果となった。特に九州管内のレンタカーによる入込が前年比118%と伸びている。一方で、レンタカーを除く「宮崎県」ナンバーの乗用車が減少している。8月より高千穂峡第一御塩井駐車場と第二あららぎ駐車場の料金を500円と300円から、一律1000円へ料金改定を実施。この料金改定が、減少の原因だと考える。しかし、駐車場の利用者数は増加しており料金改定による入込への影響は少ないといえる。併せて、「7月には大震災が起きる」とSNS上で噂が拡散し団体客の入込は月別で見た時には落ち込んだが、前年同月と比べると大幅に減少しておらず、入込数に大きな影響はなかった。

現場からの声として、去年に引き続き高千穂町内においてレンタカーを運転する外国人観光客の姿が多くみられる事が挙げられた。嘉島JCT～山都通潤橋ICまで延伸開通したことによる利便性の向上に加えて、円安傾向がが続いていることも追い風となっている。また、日本政府観光局（JNTO）の発表によると令和7年年間の訪日外国人数は4,268万3,600人、訪日外国人消費額は9兆4,559億円となり、どちらも過去最高を更新している。

令和7年の出来事として、4月13日～10月13日に開催された大阪・関西万博にてCool Japan Award 2025 インバウンド部門では高千穂峡が選定され、海外からの高い評価を得た。11月には、高市首相による台湾有事に関する発言によって中国が自国民に対して、日本への渡航自粛を呼びかけた。この影響を受け、高千穂町でも令和8年の団体の入込数は減るのではないかと推測する。他方で、2028年のユネスコ無形文化遺産への追加登録候補に「神楽」が選定された。高千穂神社で毎日行われる観光向けの高千穂神楽はもちろんの事、地域で行われる夜神楽への関心も高まることが予想される。

○高千穂町観光統計調査要領

1. 観光客入込調査について

・乗用車

有料駐車場（あらかぎ、高千穂峡）の年間駐車台数調査。

GW期間中、お盆期間中の高千穂峡周辺駐車場カウント調査。

・貸切バス

観光業者（高千穂峡周辺）に対する入込数等アンケート調査。

・路線バス

宮崎交通に対する利用者数等アンケート調査。

2. 観光客消費額調査について

・宿泊、土産品、飲食、交通費等

町内宿泊施設、土産品店などに対する消費額等のアンケート調査。

3. 方面別入込数調査について

有料駐車場、観光業者、宿泊施設への方面別入込アンケート調査。

4. その他

町内観光施設の利用者数調査。

上記に基づいて推計するとともに、実態を把握。